

日本エンドオブライフケア学会
交流集会10

群馬大学発！看護研究実践統合センターから
現場に活用できる研究をご提供

企画者：群馬大学大学院保健学研究科 新井陽子

参加者

がん看護：近藤由香・京田亜由美・塚越徳子・瀬沼麻衣子

老人看護：内田陽子・伊東美緒・梨木恵実子

慢性疾患看護：岡美智代・高橋さつき・松本光寛

母性看護：新井陽子・國清恭子・深澤友子・齋藤明香

精神看護学：近藤浩子

交流集会の目的

研究知と実践知を繋げる

群馬大学看護発！看護研究実践統合センターから
現場に活用できる研究の紹介をおこない
参加者との意見交換を行うこと

交流集会の内容 50分

- I. 専門看護師（CNS）分野：教員の研究や取り組み 25分
がん看護、老人看護・慢性疾患看護・母性看護
- II. 精神看護学：教員の研究や取り組み 5分

- III. 意見交換 20分

看護研究実践統合センターの概要

2020年度に看護研究実践統合センター設立

「看護研究を応用した高度看護実践により、地域に安心の輪を広げます」

事業目的

1. 看護研究データベースを構築し、エビデンスのある看護実践のための情報発信地とする
2. 高度実践看護師などのネットワークを構築し、看護研究データベースに収載されている看護実践を参考にしながら、患者さま・利用者さま、ご家族の方に質の良い看護ケアを提供すること

本学における研究知の例

看護教員から発信する高度看護実践技術

- EASE（イーズ）プログラム®
- 腎臓ケアeラーニング講座
- 腎臓アプリ
- 包括的BPSDケアシステム®
- 認知症のBPSD予防ケア

看護外来の実践

- がん看護外来
- 糖尿病療養相談外来
- 母性看護外来

専門看護師（CNS）分野：教員の研究や取り組み

がん看護、老人看護・慢性疾患看護・母性看護

がん看護CNS

- がん患者と家族へ高度な看護実践ができる能力を高める講義・演習・実習を行っている。高度専門看護師育成38単位教育課程では、緩和ケアをサブスペシャリティにしている。
- がん診療連携拠点病院など臨床で活躍するCNSと連携した教育
- 群大出身者数：27名
- 修了後は群馬がん看護専門看護師協議会にバトンタッチ：
群大出身もしくはは県内所属のがん看護CNSが施設を超えた連携やピアサポート、事例検討や勉強会を通じた自己研鑽を実施
- 群馬がん看護研究会：
県内11病院、5大学、患者会代表を中心に、医療者、サバイバー、家族、一般市民が主にがん看護・がん医療を考える

老人看護CNS

- 超高齢・多死社会において、高齢者・ご家族の方が抱える複雑な問題やニーズに対する支援を行い、QOL向上に寄与する役割をもつ。
- 群大出身者数：12名
- ぐんま老人看護専門看護師会：（GGC：Gunma Gerontological CNS）
 - 定期的に事例検討会・情報交換、学会発表や活動
 - 現場でできる研究活動・論文や著書の執筆活動
 - 所属する地域のケアシステムの構築や勉強会・交流会

慢性疾患看護CNS

- 糖尿病、腎臓病、循環器病、脳神経疾患など、慢性疾患に関する広領域の講義・演習・実習を行っています。
- 病棟、外来などの、多様な治療環境でパイオニアとして活躍できる人材を育成しています。

慢性疾患看護CNSになると

慢性疾患について
医療職者への教育

慢性疾患看護の
複雑な困難事例への
実践や相談

慢性疾患をもった
患者・家族への
意思決定支援・ACP

慢性疾患の
看護専門外来で活躍

一般市民向けに
健康講座の実施



専門的な知識や技術が身に付くことで、活躍の場が広がり、やりがいも増えた。
院内外の医療機関や地域の関係職種者との繋がりが深くなった。

母性看護CNS

- 周産期の母子および家族、女性が抱える健康問題に対し、ヘルスケアチームのメンバーと協働して問題解決をはかる
- 群大出身者数 7名

女性中心の理念に基づく専門性の高いケアを提供できる母性看護CNSを育成

- ハイリスク妊産褥婦に対する丁寧なフィジカルアセスメントを行い、生活・心理的な視点等、対象を包括的に捉える
- ヘルスケアチームが力を最大限発揮し、組織におけるケアの質を向上できるように役割機能を発揮し、組織のチェンジエージェントとなる

修了後も専門性を高めていけるよう群馬県母性看護CNS協議会と協働し継続的に支援！

群馬県母性看護専門看護師協議会

CNS認定・更新試験にむけたサポート、県内他職種に対する相談・教育

教員の研究や取り組み

がん看護分野

<p>テーマ</p>	<p>がん看護外来</p>	<p>群馬がん看護研究会</p>
<p>内容紹介</p>	<p>附属病院のがん分野の専門・認定看護師と教員が連携し院内外の、がん患者さんやご家族からの相談・支援を行っています</p>	<p>群馬県内のがん看護の質向上を目的に、学術集会の開催やセミナー等を行っています</p>
<p>臨床での応用例</p>	<p>角田明美, 他: 病院と大学との協働によるがん看護外来で行った10年間の相談の動向と今後の課題. 群馬保健学研究. 42. 2021</p> <div data-bbox="262 829 1121 892" style="background-color: #f08080; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>● がん相談・がん看護外来</p> </div> <p>「がん相談・がん看護外来」は、がん患者さんやご家族の療養上の不安や悩み、困りごとなどに対して、一緒に解決をしていきます。がんや再発への不安、化学・手術・放射線療法の内容やセルフケア、副作用への対処方法、今後の治療、在宅療養や経済的な悩みなど、がんに関する相談ごとに対応します。相談に応じるのは、がん看護の専門家（がん看護専門看護師、相談支援看護師、保健学研究科教員など）です。相談は電話か面談で行なっています。すべての受付窓口は、患者支援センターです。ご希望により、病棟や受診科外来まで出向いての対応もしています。また、群馬大学医学部附属病院に受診していない方もご利用いただけます。</p>  <p style="text-align: right;">群馬大学医学部附属病院看護部ホームページより</p>	<div data-bbox="1880 554 2502 1059" style="background-color: #fff9c4; padding: 10px; border: 1px solid #ccc;"> <p style="text-align: right;">第19回 群馬がん看護フォーラム</p> <p style="text-align: center;">今こそ考えよう 地域で暮らすがんサバイバーへの 外来継続看護</p> <p style="text-align: center;">令和5年5月27日(土) 13:00-16:30</p> <p>13:00 開会 13:10-14:00 特別講演Ⅰ 「がんサバイバーシップを支える外来継続看護」 講師 国立がん研究センター中央病院 がん看護専門看護師 遠藤 貴美子</p> <p>14:00-14:40 特別講演Ⅱ 「がん告知、入院、治療、退院・・・そして患者に」 講師 みゆりりっぷ 代表 三武 美紀</p> </div> <div data-bbox="1319 619 1814 936" style="margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="1319 959 1814 1310" style="margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="1880 1088 2502 1310" style="text-align: right; margin: 10px 0;"> <p>群馬がん看護研究会 ホームページはこちら</p>  </div>

問い合わせ先： 近藤由香 yukondo@gunma-u.ac.jp
京田亜由美 akyota@gunma-u.ac.jp

老年看護学分野

HPはbpsd.jp



テーマ

包括的BPSDケアシステム®の電子版
(内田陽子)

認知症・ユマニチュード®の研究
コミュニケーション学習システム

(伊東美緒・梨木恵実子)

内容

認知症の行動・心理症状に対応するアセスメント・ケア・アウトカム評価を電子システムで迅速に対応。

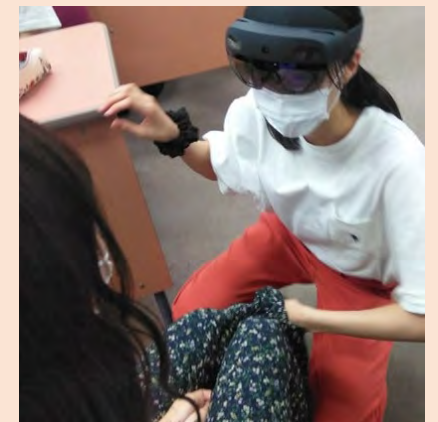
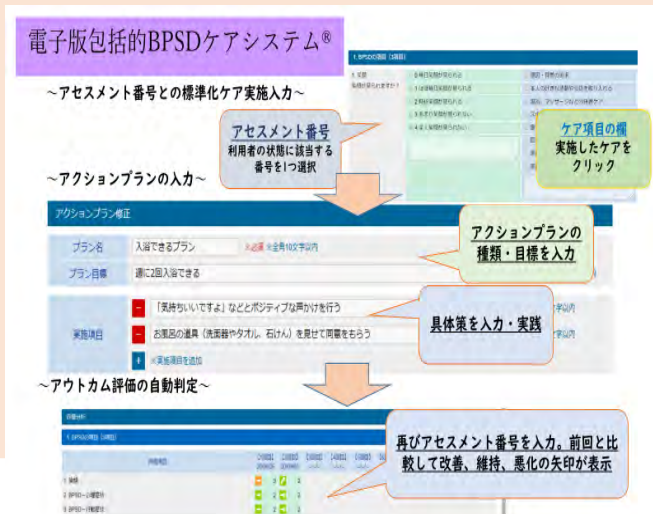
ユマニチュード®というケア技法を科学的に評価し、学習できるシステムで認知症対応力をアップ

臨床での応用例

A病院、B訪問看護ステーション、C高齢者施設でBPSD軽減の事例効果が示された。遠隔操作も可能

密を避けて連携できる
コロナ禍でも対応

「コミュニケーション学習システム」ではホロレンズ・アイトラッカー装着体験



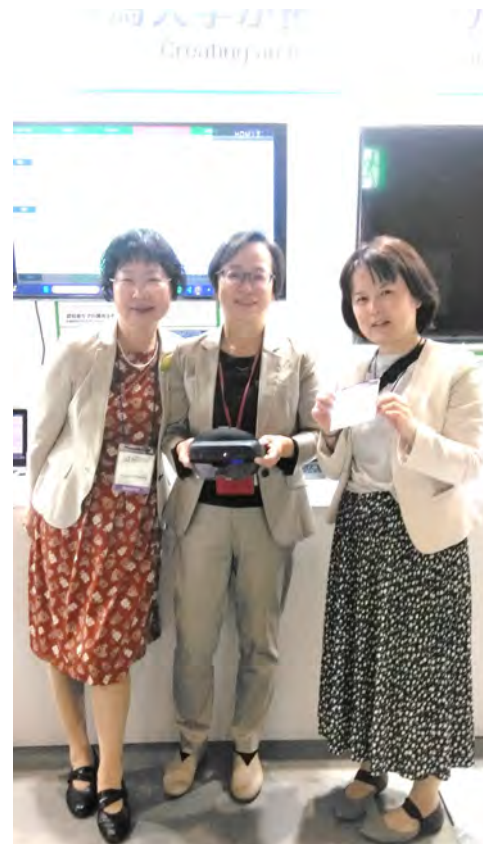
問い合わせ先： 内田陽子 yuchida@gunma-u.ac.jp
伊東美緒 mioito@gunma-u.ac.jp

老年看護学分野：G7 群馬・高崎デジタル会合出展

海外閣僚・河野大臣への紹介 2023年4月



興味持たれるドイツの閣僚



老年教員3人で説明



包括的BPSDケアシステム®は社会実装



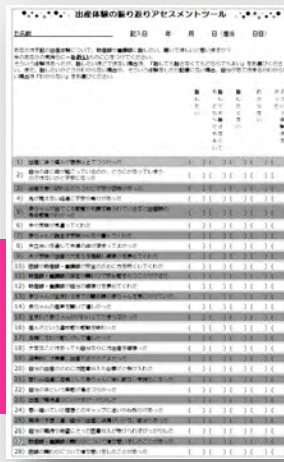
群馬大学看護学 看護研究実践統合センター 研究とリンクする臨床活動の紹介:慢性看護学



テーマ	EASE (イーズ) プログラム® Encourage Autonomous Self-Enrichment Program® 聞き書き	腎臓ケア eラーニング講座	生活習慣病患者の支援
内容紹介	 <ul style="list-style-type: none"> 対象者のセルフマネジメントを手助けするプログラムです。 RCTでも効果が証明されています 		<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病透析予防プログラムの開発 腎臓病教室の実施 ICT活用による患者教育の開発など
臨床での応用例	<ul style="list-style-type: none"> 各疾患の療養指導に利用されています 糖尿病患者さんのセルフケア支援 (挙児希望の患者さんがEASEでダイエット成功！ 赤ちゃんが生まれました！) 国交省観光事業、上野村健康森林EASEプログラム®を実施 看護学生の患者教育の学習への応用 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 岡研究室ホームページ </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 10px; text-align: center;">  <p>アクセス はこちら</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 腎臓病患者用Web教材を開発しています。日頃の患者教育にお役立てください。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 10px; text-align: center;">  <p>アクセス はこちら</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 上記内容を応用した実践！ 群大病院で、看護専門外来を運営 医師・管理栄養士と共に、腎臓病教室を開催 患者さま、医療者向けWeb教材を無料公開

母性看護学分野

研究とリンクする臨床活動の紹介

テーマ	母性看護外来	産後うつ予防のための両親学級 包括的性教育（新井陽子）	出産体験の振り返り アセスメントツール（國清恭子）
内容紹介	妊娠、出産、育児に関する不安や悩みについて 女性や家族に寄り添い、研究成果を活用した看護カウンセリング を行っています	ママもパパも産後うつになる時代。パパ産休始まり、夫婦で子育て準備を始めます 命の大切さを学ぶ包括的性教育を助産師が学校の先生方と協力して行います	出産体験って何を聴いたらいいの？話を掘り下げられない と困りの方！産後の母親の 出産体験の振り返りの支援 （バースレビュー）に活用できるアセスメントツールを開発しました
臨床での応用例	<p>心理的健康に関する研究 【出産体験の振り返りアセスメントツールの開発】 【母親意識の形成発達に関する研究】 【夫婦の親密性に関する研究】 【ペリネイタル・ロスに対するグリーフケアに関する研究】 等</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 心理的健康の維持・回復 母親・父親としてのアイデンティティ形成・発達 □ 助産・看護学生、CNS学生の教育への活用 □ 新たな研究シーズが見出され実践と研究の循環 	<p>□産後うつ予防のための両親学級 病院や保健センターで、周産期に起こりやすいメンタルヘルスの問題とその対処を考えるための参加型両親学級を、家族看護の考え方をベースに家族療法の視点を取り入れたクラスを開催</p> <p>□包括的性教育 生徒たちが、人権、人間関係等の自らの性と生殖に関する健康を意識し、自ら健康を維持するための行動がとれるように、体験型の教室を開催</p> <p>どちらの研究もアクションリサーチ型研究です。実践とその効果と一緒に検討したい方、施設内で新しく取り組みたい方はご連絡ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> □すべての分娩様式において、 出産体験の振り返りの支援の必要性をアセスメントし、語りを引き出すのに役立つ28項目 □「話したい」「話したくない」という選択肢により、母親のニーズに応じた支援のタイミングを計ることができる □“わだかまり”や“ミッシングピース”の可能性がわかる □助産・看護学生への教育にも活用可能 <div style="background-color: #ff69b4; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>アセスメント ツールを使ってみたい方は、ぜひご連絡ください！</p> </div> 

精神看護学分野

テーマ

スティグマ&ピアサポートの研究

～一人ひとり、みんな違ってあたりまえ～
～助けあえる仲間を作ろう～

内容

<調査研究>

- ・さまざまな障害をもつ人への社会的態度
- ・ピア活動(仲間どうしのサポート)へのニーズ

臨床での応用例



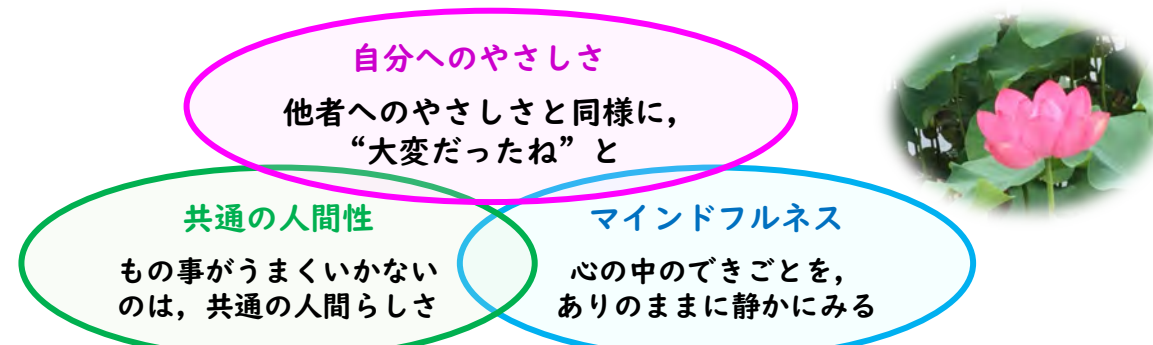
- ・精神疾患の知識だけ学んだ人と、障害をもつ方の体験を聞き話合う会に参加した人の社会的態度を比較
- ・会への参加者は、障害を持つ方との社会的距離が近づき、障害への理解が深まった。

セルフ・コンパッションの研究

～自分への思いやりを育てよう～

セルフ・コンパッションとは

困難な時にこそ、自分に思いやりとやさしさを向けること・・・自分の非を責めるのではなく・・・



- ・調査結果：セルフ・コンパッションが低い看護師は、メンタルヘルスの不調を経験しやすい
- ・セルフ・コンパッションを高めるための毎日の小さな練習（ホームワーク）を実践する会を計画中

問い合わせ先：近藤浩子 hirokok@gunma-u.ac.jp

意見交換